誰もがすごしやすい社会へ

葉山町立南郷中学校

一年　宮崎（みやざき）　うらら

私は今、特別支援級に所属しています。今の学校生活は、不安が安心に変わってきて楽しく通えています。先輩や先生たちがやさしく笑顔であいさつなどをしてくれたり分からない事も教えてくれたりすごくうれしい気持ちでいっぱいになります。小学校の頃の経験や支援級での経験から、学んで得た事を周りに発信していきたいです。

私が小学4年生の頃、色々な不安が重なって教室に居る事がだんだんむずかしくなり、保健室で勉強をしたり休憩をしていました。この一年間は少し学校に行く事に対して不安はあったど、楽しく通えていました。そして五年生の頃、特別支援級に入りました。4年生の頃は、長い間、保健室にいたので久しぶりに教室に行った時はきんちょうしました。けれどもへなんとか毎日通っていました。そ

して夏休みに入って、勉強や色々なきんちょうと不安とれて、心がほっとしました。しかし、その反動で、夏休み明けには何をするにも不安や怖いなどの感情が出てしまい、また勉強が来るかもなど学校に通う事に対しても楽しみよりも不安が勝ってしまうようになりました。

しかし、病院の先生が不安を抑える対処法を教えてくれたり、小学校の先生や、友達が助けてくれたり、学校に行く事を楽しみに変えてくれた人達に感謝の気持ちでいっぱいです。

中学生になって、はじめは不安でいっぱいだったが小学校の時支えてくれた人達の事を思いだしたりしてがんばろうという気持ちになれました。部活動はやりたくないと思っていました。新しい学校生活は毎日たくさんの刺激であふれていて様々な事に挑戦したいという意欲が湧き、部活動に入る事を決めました。部活は私にとってとても楽しく、マネー

ジャーの先輩は本当にやさしくて、私はこの部活に入ってとても良かったと思います。また、教室を明るく元気なクラスでやさしく分からない事も教えてくれる友達もできたり、話しやすい友達もできたり、中学校生活は毎日キラキラ輝いてくる様に見えます。

私が支援級に入って、みんなとちがう、ふつうじゃないなどの考えで見られてしまうことがあると感じています。大体の人は同じという言葉にとらわれていると思います。でもよく考えたら一緒じゃなくて何が悪いの？一緒の人が沢山いても楽しいけれど一人一人の個性をみんながもっと大事にして理解してくれたら沢山の人が居心地の良い学校生活や社会を送れると思います。

私は支援級に入った後、授業ごとに行き行きすることが多く、支援級はとても安心なところでもあるけどみんながどう思っているのか分からず不安な気持ちになる事が多かったです。

しかし、その中でも支援級に入って理解がない言葉が多くある事に気づきました。多くの人達がより過ごしやすいクラスを作るためには主に2つの事を大切にするべきだと思います。

一つ目は配慮です。色々な人がいる中で相手が苦手な話をされたりいやな気持ちになるからです。最初に相手の気持ちを考えた上で話すということが大事だと思います。

2つ目は理解し合う事です。理解する事によって周りの個性をたくさん生みだせるからです。私のクラスの理想は、勉強する場所は人それぞれである事を共感し、思いやりを持つ心が一番大切だと思いました。これからは自分の考えや意見が周りと少なかった時にそれを楽しみに変え、新しい考えを生み出していきたいと思います。